

## 看護統合実習（在宅看護領域）

2 単位

### 実習目的

1. 在宅療養者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、高齢化社会における地域の実情を知り、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実際を学び、看護職の役割を理解する。
2. 地域包括支援システムを推進するための医療機能とその役割について、分化と強化、連携、療養移行支援(退院支援)の実際を学び、生活を支える医療・看護について理解する。
3. 安心・安全で質の高い在宅看護を実現するための人材確保、人材育成の実際を学ぶ。

### 実習目標

1. 地域包括ケアシステムにおける医療機関の役割、チームアプローチ、看護職としての役割と機能について理解できる。
2. 多職種連携と協働によるシームレスケアについて理解を深め、自律・自立支援に向けた看護を理解できる。
3. 24時間・365日の安全・安心を保障する継続看護のシステム、社会資源、経営管理を理解し、生活を支えるケアマネジメントが理解できる。
4. 在宅療養者と家族が可能な限り安楽で充実した生活が送れるように人生の最終段階における意思決定支援、および看取りケアシステムの実際が理解できる。
5. 病院と訪問看護ステーションにおける人材確保、人材育成の現状と課題について理解できる。
6. 地域包括ケアシステムが推進されている社会背景を踏まえ、自己の看護観と今後の学習課題を明確にすることができる。

### 実習期間

令和2年6月29日 ～ 7月10日 10日間（学内日を含む）

### 実習施設

聖ヶ塔病院および訪問看護ステーションのぞみ

新生翠病院および訪問看護ステーションみどり

訪問看護ステーション清雅苑

社会保険大牟田天領病院

### 実習時間

原則8時30分～16時（実習施設により異なる）

## 実習方法

- 1) 実習期間は常に実習目的／実習目標／自己の学習目標を確認しながら研究的視野を持ち、積極的に行動できるよう心がける。表1を参考にして実習目標を達成できるよう学習を行う。
- 2) デイリーカンファレンスと最終カンファレンスを行い、実習での学びを深める。
  - (1) デイリーカンファレンス
    - ・テーマを設定し、実習目標に関するプロセスの振り返りや他者との意見交換等によって学びを深める。
    - ・展開方法・役割・事前準備等は、学生・臨地実習指導者・担当教員と検討したうえで実施する。
  - (2) 最終カンファレンス
    - ・学生が実習期間に学んだ内容を臨地実習指導者／担当教員と共有し、さらに意見交換や助言を得ることで学びが深めることをねらいとする。
- 3) 実習期間は下記(表2)の日程で、臨地実習指導者や担当教員と相談の上実習を展開する。

表2 実習日程

週	日	曜日	実習場所
第1週目	1	月	学内(オリエンテーション)
	2	火	臨地実習
	3	水	臨地実習
	4	木	臨地実習
	5	金	臨地実習
第2週目	6	月	臨地実習
	7	火	臨地実習
	8	水	臨地実習
	9	木	学内(資料作成)
	10	金	学内(学内発表:記録提出)

### 《 課題レポート 》

- ・様式：A4サイズ（11ポイント40文字×40行）で3枚以内にまとめ、表紙（様式0）を付けたものをホチキスで止め2部用意する。
- ・内容：① 地域包括ケアシステムが推進されている社会背景を踏まえて、実習期間全体の学びから、内容に相応しいサブテーマを設けて論述する。
  - ② ①の内容を踏まえて自己の看護観と学習課題を具体的に記述する。参考文献・引用文献も記載する。

## 実習評価

実習態度／実習内容／実習記録（課題レポートを含む）／出席状況等を看護統合実習評価表（在宅看護領域）に基づき総合的に評価する。

## 実習記録の書き方

1) 実習記録は看護統合実習記録様式一覧を参照して記入する。

### 看護統合実習記録様式一覧

様式	内 容	記入方法
様式 0	表紙〔看護統合実習〕	パソコンまたは手書き
様式 1	自己紹介書	パソコンまたは手書き
様式 2	日々の実習記録	パソコンまたは手書き
様式 3 (様式3-1、3-2)	サービス利用者情報シート	手書き
様式 4	・表紙〔看護統合実習での学び〕 ・看護統合実習全体に対する学び	パソコン
様式 5	健康管理自己チェック表	手書き
様式 6	実習評価表	手書き

注 i : 実習記録類はすべて黒インクを使用すること。

注 ii : 助言を受けて追記する場合は、青インクで記入、又は追記箇所に青で下線を引く。

注 iii : 記入内容の訂正は、訂正箇所に二重線を引き（印鑑は不要）余白に訂正内容を記入すること。

2) 様式2は、下記の看護統合実習における学びを参考にして毎日の記録を作成する。該当する項目以外の実習目標や学びについては学生が考えて記入する。

### 看護統合実習における学び

#### 1. 訪問看護ステーションについての学び

- 1) 地域包括ケアシステムにおける訪問看護ステーションの役割について理解する。
- 2) 在宅復帰への移行支援において、医療機関との協働や活動について理解する。
- 3) 在宅療養者の生命と健康を護り、自立支援を行うための活動について理解する。

- 4) 災害時における訪問看護ステーションの活動とその役割について理解する。
- 5) あらゆる健康レベルを支えるための地域包括ケアの概念と活動について理解する。
- 2. 訪問看護ステーションの管理業務についての学び**
  - 1) 在宅療養を支援する多職種協働における看護管理の役割について理解する。
  - 2) 災害発生時の訪問看護ステーションにおける看護管理の機能と役割について理解する。
  - 3) 訪問看護師の人材育成や人材管理、課題について理解する。
  - 4) 訪問看護ステーションを円滑に経営・運営するために必要な経営的視点について理解する。
  - 5) 他の訪問看護ステーションとの連携や政策提言についてどの取り組みなど理解する。
- 3. 外来実習についての学び**
  - 1) 病院機能における外来の役割について理解する。
  - 2) 外来における安全なケアを提供するための外来看護師のリスクマネジメントについて理解する。
  - 3) 地域包括ケアシステムにおける外来看護の役割について理解する。
- 4. 地域医療連携室についての学び**
  - 1) 病院機能における地域医療連携室の役割について理解する。
  - 2) 地域医療連携における多職種との連携と看護職の役割を理解する。
  - 3) 地域医療連携室における院内外の地域資源の活用について理解する。
- 5. 病棟実習における学び**
  - 1) 実習病棟の特徴と機能について理解する。(病院組織における位置づけと役割)
  - 2) 入院から退院までのケアプロセスにおける看護職の役割について理解する。
  - 3) 安全なケアを提供するための病棟看護師のリスクマネジメントについて理解する。
- 6. 看護管理部門実習についての学び**
  - 1) 病院における看護部の組織的位置づけと理念、役割について理解する。
  - 2) 病院における看護管理部門の役割とリスクマネジメントについて理解する。
  - 3) 他部門との協働・連携について理解する。

#### 記録提出

- 2) 実習評価に必要な実習記録物は順番に揃え、指定された期日までに担当教員へ提出する。
  - (1) 実習記録一式(綴): 様式0、1、2、3、4、6、課題レポートの順で2穴用の綴じ具を利用して提出する。
  - (2) 出席表、様式5、表紙を付けた課題レポート一部は別添で提出する。
- 3) 記録提出時間を実習最終日(7月10日)の14:40とする。